

# ほれんきょう 保育園見学のポイント

まずはじめに・・・

## ①「通えそうな保育園をリストアップ！」

自宅から通勤までのルートをつくって、そのルート範囲内にある保育園を全て候補園とする。



<例>

谷戸町在住、パパママ共に西武池袋線利用世帯。

朝はパパがメインで送り担当。

夕方はママがメインでお迎え担当をした場合、自転車を使って無理の無い範囲に認可6園。認可外4園。



## ②「リストアップした園全てを見学する！」

まずは候補園全てを見学する事をお勧めします。実際に通園する方法で自宅から歩いてみたり、自転車に乗って行ってみたりしてイメージをついたら、園内を見学を申し込みます。毎日の事なので、事前に通園路は下見しておきましょう。

見学を希望する場合、必ず事前に保育園へ電話します。

11~12月は4月の一斉募集に向けて見学が集中しますので、9月頃までに行くとゆっくり見学出来ます。

電話をし、見学希望であることを伝えて日程調整します。平日であればその日のうちに見学に応じてくれる施設も多いため、朝9時半までに電話をしてみましょう。

土曜日の見学は断られるケースが多いですが、もし土曜日も利用する事が前提であればその旨を伝えて土曜日の見学もしたい旨申し入れると受けてもらえる場合があります。

なるべく子供達の姿を見るためには午前中（10~11時頃）の見学が良いでしょう。子供達がお昼寝中（13~14時）の見学は本来の姿が見られないため、避けましょう。（もし園からその時間帯を指定されたら、午前中に見学出来ないか聞いてみましょう）

さあ、見学！の際のチェックポイント

★見学する際は、案内されるがままにさっと回るのではなく、一箇所に少なくとも10分はじっとしてクラスや園庭の様子を見ましょう。

## ①外観や設備の見た目より、施設の中の清潔感や保育士さんの雰囲気重視しましょう。

新しい保育園は確かに見た目は綺麗です。新しい設備も導入されています。しかし設備面の良し悪しは保育士さんの雰囲気で変わると考えて下さい。

<チェック項目>

- 保育士さんの平均勤務年数は？
- 年度途中の退職者、年度末の退職者とその理由は？
- 園内で明るく挨拶してくれるかどうか
- 子供達への接し方は温かみがあるかどうか
- 施設長（園長）の雰囲気はどうか
- 施設内は掃除が行き届いているかどうか
- 施設内に花壇や生け花、観葉植物があるかどうか
- クラス内の掲示物から温かみを感じるかどうか
- 子供達は生き生きして元気かどうか



## ②入園時の持ち物、準備する物を確認する。

園によって準備する物が違います。出来ることなら自主製作物は少ない方が良いのが本音でしょうが、予め把握しておくことで心構えが持てると思います。

## ③開所時間などを確認する。

園によって開所時間や延長保育時間の扱いが違います。実際に通園する際に何時から何時まで利用する予定なのかを告げると、どういう扱いになるか教えてくれます。

## ④登降園時（送迎時）の保護者の様子も見学する。

園にもよりますが、8時半前後と17時半前後に送り迎えのピークがあります。その時間帯に送り迎えしている保護者の様子も下見しておくといいでしょう。

# ほれんきょう 保育園見学イメージ

見学の際は緊張して何を聞いて良いか分からないこともありますよね。ここでは実際の見学イメージをご紹介します。

## <見学予約時>

見学を快く受け入れてくれるかどうかは実は園の雰囲気によって全く違います。見学時間は30分程度で行われることが多いです。

まずは電話をして見学の旨を伝えます。

「保育園の見学をしたくてお電話したのですが、今よろしいでしょうか？」

「午前中に見学したいのですが、よろしいでしょうか。」

「可能であれば今日、これから見学してもよろしいでしょうか。」

「午前中に見学できる日に合わせますので、ご都合教えてください。」

もし、どうお願いしてもお昼寝中の時間帯（13~14時頃）しか指定されなかった場合は園にとって何か都合の悪い事があるのかもしれない。可能であれば理由を聞いてみましょう。

- ・園の職員が手薄で、日中の保育時間帯に付き添える人がいない
- ・行事の練習等、普段と違う保育が行われていて見学を受け入れていない
- ・園内設備工事などが行われている、など。

## <見学时>

さて、いよいよ見学です。予約した時間に遅れずに行きましょう。園玄関ではインターホンで鍵を開けてくれる所が殆どですので、インターホンを押して名乗りましょう。

また、見学を受けてくれた事にお礼の言葉も添えましょう。

殆どの場合、お子さんが入園する予定のクラスから案内してくれますが、もし他にも見学者がいる場合は0歳クラスからが多いです。

## <クラス内見学时>

保育士と子供達がいる場合はじっくりその様子を眺めましょう。廊下からなど部屋の外から見る事が出来ればより子供達のいつもの様子が見られます。

部屋の中の壁などに製作物やお便りなどがある場合は目を通しましょう。保育士さんの人数も確認しましょう。おむつ替えやトイレの時の子供達の表情、ぐずっている子への対応や、幼児は子供同士の喧嘩に保育士がどう話し掛けているかも見ておきましょう。

「今は何をしている事が多い時間帯ですか？」

「お散歩はどのぐらいの頻度で行きますか？」

「もし体調がすぐれない子がいる場合はどうしていますか？」

「遊ぶおもちゃなどは子供達が自由に選んでいますか？」

## <園庭見学时>

園庭がある園では、子供達が遊んでいる様子が見られます。保育士と子供達がどのように関わって遊んでいるかを見ましょう。

「乳児と幼児は一緒に園庭で遊んでいますか？交代ですか？」

「怪我の場合はどう対処していますか？」

「雨の日はどうやって過ごしていますか？」

## <給食室>

午前中は給食室が一番忙しい時間帯です。外から見学出来れば調理員さんの様子を見ると良いでしょう。

「離乳食の進め方などはどうしていますか？」

「アレルギーの子にはどんな給食を出していますか？」

「職員給食はありますか？」

## <その他>

職員の勤務年数や、ベテラン保育士さんの配置も確認しましょう。平均年齢を聞いてみても良いと思います。